



発行 東京片貝会
埼玉県新座市栄1-5-5
(〒352) 阿部修次
電話 0484-78-4494

新しい会場で

新年会にお出かけください

期日 平成7年1月29日(日)午後一時〜四時
会場 箱崎シティエアターミナル(団体待合室)

(中央区日本橋箱崎町42-1 ☎03-3665-7162)

亥年は運氣の強い年と申します。
この度は会場も一新しました。片貝会の発展を願うには、よい機会と存じます。どうぞ、ご出席下さい。

記

- 一、日時 平成7年1月29日(日)午後一時(正午より受付)
- 一、会場 箱崎シティエアターミナル(団体待合室)、日本橋
営団地下鉄 半蔵門線(渋谷〜水天宮前) 水天宮前下車4分
- 日比谷線、都営線
人形町下車10分

一、会費 男性六〇〇円 女性五〇〇円
お願い 返信は1月20日までに届くようお願いいたします。

会の動き

創立35周年総会 6月26日

二面参照

阿部新会長を選任する

新旧役員会 9月25日

台東区上野の鯛方にて、約30名が集まり、下に掲げる役員の新任をお願いし、懇談した。

太刀川信一先生(昭43・つぐみ会)による
中学校体育館完成 11月22日
式典に阿部会長が出席
新年会(予定)
平成7・1・29 一面参照

母校を励ます会、講演会
三面参照 11月4日
長岡技術科学大学、助教

新役員

(数字は小卒年)

- 会長 阿部修次 21
- 副会長 黒崎 正 22
- 理事 小野塚茂 23 佐藤祐一 27
小宮善雄 19
- 安達和三 21 大塚順一 22
- 本田幾雄 22 本田文夫 23
- 本田幸雄 24 黒崎 勝 28
- 久賀友作 28 藤塚 悟 31
- 小宮善興 31 諸我時夫 32
- 婦人部 丹治きみ 17

- 忍足良子 22 中村恵美子 23
- 宮沢道子 23 青木マツエ 24
- 横尾ミチエ 24
- 会計 新野次朗 21
- 相崎達一 22 吉井信三 32
- 会計監査 吉原三代治 21
- 顧問相談役 佐藤量八大 12
- 勝又 功 6 小川茂雄 2
- 相崎勇次 2 芝 五郎 3
- 相崎善次郎 5 黒崎孝造 6
- 佐藤彦一 8 芝三四司 8
- 松下利夫 18

楽しい会にしよう

諸先輩が東京片貝会を、いかに心の依り所として来たか、それは三十五年間継続された歴史が如実に物語っています。

毎年目まぐるしく都会に生きている私達は、時に一息入れることの出来るオアシスが必要ではないでしょうか。その一つが東京片貝会であって欲しいものです。

新会長に期待

私が会長をお引き受けしたのは昭和59年5月総会の時でした。それから本年六月の総会までの十年間でありました。中でも忘れられないのは、30周年記念を八芳園で挙行了した時のあの感激です。

会長 阿部修次(昭21)

郷里の方々と、楽しく話し合ったり、会員同士が年令を越えて、過ぎ去った日々を語り、次代を話し合うことの出来る場所、出席するだけで楽しくなるような会であってほしいと思います。

会を大切に、更に歴史を伸ばして行きたいと思っております。会員皆様の御指導、御鞭撻をお願い致します。

前会長 勝又 功

今度、阿部修次氏が、伝統ある片貝会を継承して下さることに、感謝に堪えません。阿部氏は若く、会発展のための情熱に燃えておられます。その活躍が期待されます。よろしくご尽力のほどを

お願い申し上げます。
母校を励ます会より
(三面参照)

寄贈図書 三冊

- 小学校 進化の歴史10、ラビット絵本24、迷路ブック9、世界ふしぎ物語10 世界童話12他106冊
- 中学校 世界美術大全集11、15、5冊

異動・訂正

- 昭6 黒崎敬五郎 番地変更 田園調布南26-14
- 19 位下郁郎 263千葉市稲毛区六方町118-5 043-423-1388(電)
- 23 駒村幸子 0462-67-8723(電)
- 26 千葉悦子 048-255-8843(電)
- 28 小野塚恭二 郵便番号 112
- 32 安達寿光 300 土浦市板谷1-59-4
- 43 内藤富美子 351-01 和光市広沢1-11-407 電話不変
- 大12 横山 隆 100-12 三宅島村河古807-1
- 昭2 菅野リヤ 福井市に永住
逝去(謹んで哀悼申し上げます)
- 大10 石上リヤウ 6・2・4
- 昭31 本田孝義 6・4・9

新会長を選任して 新たな出発を——35回総会——

平成6年6月26日 東京新潟県人会館

曇ってはいるが、時折日が射しこんで、まずまずの日和となった。

黒崎正副会長の司会で開会となる。あいさつは芝五郎副会長、黒崎さんが会計報告を、49号掲載の内容を説明、小川さんが監査の結果を述べ、異議なく承認された。

励ます会の代表、佐藤祐一さんが日頃の協力に対して、あらためて謝辞を述べ、今後とも変らぬご支援をお願いした。続いて母校へ図書購入費

として、十万円宛贈呈した。井口勗小学校長、鈴木道中学校教頭先生より謝辞

新会長の選任

勝又会長より、政局は只今混乱しているが、片貝会は皆仲よくやっている。

私も会長を引き受けて丁度十年になる、七十七才を迎えたので辞任の決意をした。皆さんと協議し、二十一年卒の阿部修次氏に二年がかりで交渉した結果、ほは会長受諾の同意を得ました。御異議なければご了承下さい、と提案。

満場の拍手で承認される。他の役員は、次回までに決定発表すること

を約して終了。
阿部新会長あいさつ

私は清水町の生まれ、昨年還暦を迎えた。片貝会の明かりを消さないためという意味で引き受けた。片貝



会はみんなのための会です、どうか御支援下さい、と、力強い決意が述べられた。

懇親会

小野塚茂さんの司会で懇談会となる。

来賓から、別掲のような祝辞が述べられ、相崎勇次さんの乾杯で始まった。楽しい語らいや歌が次ぎつぎと出て、四時にしやぎりとなり、木遣りを大合唱して閉会となった。

お祝いのごば(来賓)

山口益弘協議会長

狭かった現在の郵便局も、駅の跡に建つことになり、来年早々には完成します。

長岡へのバイパスも近く出来ると思う。中学校の体育館もまもなく完成します。町の若者は、みな張りきっている

佐藤仁農協組合長
昨年は米が不作で大騒ぎになった。今年は豊作で嬉しいけれども、これは農水省の米

で、農協の自由にはならない。備蓄米、減反も政府の方針がはっきり見えてこない。お祭りに来られても、新米には間にあいません。来年には十分面倒みられると思う。お出でをお待ちしています。

吉原芳郎体協会長

市の体協と二つあるが、片貝の方が先にできた。

中学のバレー戦に、横断幕を会から寄贈されたが、他校ではあまり例がないと、注目されました。全国大会で、北海道などを破り三回戦で敗れ、私達の県が三位になった。個人競技は弱い、団体は強い。だからもつと個人競技(陸上や水上)に力を入れてくれ、と要望しています。

当日の出席者(53名)
来賓 6名 前掲のほかに、県人会館より松縄信吉氏

会員
大正

佐藤量八 安達宗吾
昭和21、10

相崎勇次 山口ヨシ
小川茂雄 高橋 清 友田勇四郎
芝 五郎 山口三郎 日下部政子
浅田鉄二 芋川とし 藤田睦子
大内登世 馬場キイ 相崎善次郎
田口タズ 黒崎孝造 勝又 功

小宮良夫
昭和11、20
黒崎音吉 山田チエ 小宮八重
青木富代 丹治きみ 小島京子



丸山礼子 佐藤道雄 浅田栄三
近藤ヤウ 氣田登美
昭和21、30
新野次郎 山岸慶昭 吉原三代治

母 校 健 在

小学校
わんぱく相撲 5月15日
市内各校から八十名の豆力士が参加して熱戦を展開した各年度で好成績を挙げたが、中でも四年の阿部勇樹君が優勝を果たした。同君は国技館の全国大会で四回まで勝ち進み、ベスト16人の中に入った。7月31日四面秋祭りの記事を参照ください。

市内水泳大会 7月29日
五年の太刀川佳江さん、六年の小林美紀さんが優勝。

市内陸上大会 10月3日
五年の神林沙知子さん、六年の小林美穂さんが優勝。あとは今一步の成績だった。

中学校
市内陸上競技大会 6月7日
一年生が百、二百、走幅跳

阿部修次 山口俊男 安達弘男
安達和三 黒崎 正 相崎達一
佐藤孝二 本田幾雄 小野塚茂
佐藤祐一
昭和31、32
藤塚 悟 諸我時夫

当日出席の来賓各位、及び会員、黒崎 勇、加藤素子、吉原菊枝氏から、お祝いをいただきました。

で優勝。三年生の大家謙児君が、百、二百米で優勝して、南部忠平杯を受賞した。
市内球技大会 6月14、17日
バスケットは一般及び一・二年チーム、バレー、卓球女子団体がいずれも優勝した。

中越地区大会 7月13、14日
バレーボール優勝

バレー県大会 7月26、27日
女子が四位となり、北信越大会の出場をきめた。

市内球技大会 9月28日
バスケット 二位
バレー 優勝
体育館竣工式 11月22日
市長、町の関係者多数が出席して完成を喜び合った。

竣工記念バレー大会
片貝体協の主催で、県内近隣の強豪16チームを招待して開催される。 12月10、11日

夢と技術科学—時計電話の話—

長岡技術科学大学助教 太刀川信一先生
第13回 母校を励ます会 記念講演



中学生の頃、私は漫画やSF小説に夢中でした。当時アポロ11号が月面に着陸した。人類が初めて月面に立ったということが大変でした。そんなことが、まだ出ていないかったのか、随分遅れているな、と、漫画読みすぎの私は思ったものです。しかし現実と夢との区別がつかないような時に、案外面白いアイデアが浮かびます。タイムマシンは過去と未来を行ったりきたりする機械です。光の速度ぐらいの乗物に乗っていると、普通の場合とは、時間の進み方が異なってくる。アインシュタインの理論では、タイムマシンも出来る理屈になります。ニューホーは浮いて、止まっている。つまり重力がない。重力をコントロールするなんて、ニュートンではあり得な

星と交信して、距離を正確にはかると、完全に自分の車の位置が分かれます。これは地球の周りに、信号が回っている絵です。光ファイバーという。電線より非常に細い線で、光を入れます。この機械は技術科学大学にもあります。ヨーロッパへ手紙を送ると、五分もしない中に返事がきます。アメリカの学校には全部入っています。今は家庭に電話は一台というのですが、将来は個人個人が持つて、互いに通話するようになりそうです。やがて世界中の人と、簡単に交信できるようになる。交際範囲が広くなれば、地域差がなくなってくる。自分の住みたい所に住み、やりたい仕事をする。そういう時代が必ずやってきます。生産性も上ってくる。余暇もできて、週休三日制にもなるでしょう。アナログ信号とデジタル信号のこと。アナログは連続して、雑音がると汚れてしまう。デジタルはカチカチ鳴っている。もし2という信号に、0.1という雑音がきて、2.1になったとする。これを四捨五入してやれば、2に戻ってきれいになる。

CDやカラオケもこの信号で、通信も次第にデジタル化してきた。携帯電話も自動車電話も、中味は皆同じです。ポケットベルは高校生に人気があるようですが、音声は送れないが小さいのが利点。来年の四月から、都会で始まるポータブルハンデソンというのがある。(PHS)これもデジタルで、小形だからどこへでも持っていける。それから究極の目標である腕時計電話。小さく、安く、どこへも通話ができる。PHSと携帯電話を足して、どんな小さくする。次に腕時計が人工衛星を使って、直接交信する。そうすれば、世界中どこにいても通信できるようになります。この前失敗した国産ロケットの打揚げに成功しておれば腕時計電話の進歩にも大きく役だった筈です。私は電波に符号をつける研究をしています。これができると、精度の高い距離が計れるようになる。そして通信も自由にできるようになる。夢も漫画のままなら何にもなりません。一歩でも前に進めるためには、アイデアを出すこと。学校の評価も、記憶中心でなく、アイデアを中心にしたら面白いと思う。

どうしたらアイデアが生れるか、そのルールはない。ただ頭の中を自由にすること、よく考えること。悩むのではなく、考えること。1、夢は大きいほどよい。思いついたらすぐ記録する。2、他人の意見や既成概念に捉われない。自己の哲学を。3、協力が大切。各自が百分やる。それを合成すれば、何

ご支援ありがとうございます
今回ご寄付いただいた方は、左の65名です。
大正 帰山すま 佐藤正雄
水内脩治 佐藤量八 安達宗吾
永井正雄 安達清次
昭和21 菅野リヤ 小川茂雄
山口三郎 野上フミ 勝又 功
堀井豊作
昭和11 20 大塚文雄 小宮繁雄
黒崎音吉 水村ヨシ 広川久美子
川村朝子 高野兵平 荻原ます子
横田トシ 谷口イク 上田ヒサノ
関 母子 内海光子 中野みちよ
松下利夫 浅田栄三 木村百合子
気田登美 小宮武史 庄司とう
昭和21 30 阿部修次 岸田トシ子
黒崎正 佐藤孝二 五十嵐登美子
吉原栄一 豊島文枝 渡辺チエ子
深野敦子 本田幸男 小川エイ子
関 文子 千葉悦子 青木マツエ
高橋一郎 黒崎 勝 小松原美枝
鯉島昭雄 松本キイ 本田十三雄
嶋川久江 藤塚文頭 小野ひろ子
昭和31 43 藤塚 悟 天野八重子

倍にもふくれあがる。
4、知ったことを棄てなさい、棄てないと、新しい考えは出てこない。
5、アイデアに頭のよしあしはない。あせるな。器用より不器用がよい。
若い君達はアイデアの宝の山なのです。面白いことをどんどん考えて、やがて花開くよう頑張ってください。
母校を励ます会報告

母校を励ます会・会計報告

会報49号以後の収支 (平成6・6・1 ~ 6・12・31)			
収入	¥189,355	支出	¥213,500
基金 (65名)	176,500	図書	200,000
利息	12,855	講演会	10,000
残高	881,695	郵券	3,500
通算会計(昭和58・5・1 ~ 平成6・12・31)1983・5月 ~ 1994・12月			
収入	¥3,701,084	支出	¥2,843,534
基金 (延1069名)	3,410,700	寄贈図書 (12回)	2,600,000
寄付利息	35,000	講演会 (13回)	130,000
利息	255,384	会報補助	35,000
現在高	¥ 857,550	印刷・証券	78,534

ふるさと・は・今

6年6月から 11月まで

下水道工事開始される

昨年からの工事が始まったが片貝地区は本年から百八十世帯が工事に取りかかった。まだ市全体の四分一ほどであるが、県平均から見ると、やや上回っている。各戸の負担額は百万円前後である。完成までには、尚数年を要するという。



シヤギリ保存会の動き

6月8日
木遣りは「前唄」「道中木遣り」「奉納木遣り」の三種あるが、これまで唄ってきたのは、主に奉納木遣りである。これ等を永く後世に伝えるようとして保存会が発足した

のは平成二年のことであった。その後、定期的に練習をしてきたが、しやぎりと共に発表会が、ふるさと会館で披露された。正式の大太鼓も、方々からの寄付金で購入され、参加者に大きな感動を与えた。

小千谷物産展で片貝の花火

7月7・8日
新宿センタービルの地下で小千谷の物産、名物展が開催された。中でも片貝の四尺玉模型、花火の写真が展示されて、人目を引いた。

芸能まつり賑やかに6月26日
小学校の南運動場で開催。十数団体が参加したが、例年のように中学校の吹奏楽部がトップを切り、つきつきと芸能が披露された。

また伝統芸能のしやぎり、木遣り唄も出演して、みんなから盛んな拍手が湧きおこっていた。五百余名の入場者。
佐藤家の山王様 7月31日
佐藤家に粟守酒の製法を伝授したと伝える山王神は、鴻の巣へ通ずる林野に祀られて

いた。佐藤家が空き家となったため、関係者が協議して、この度浅原神社に合祀。

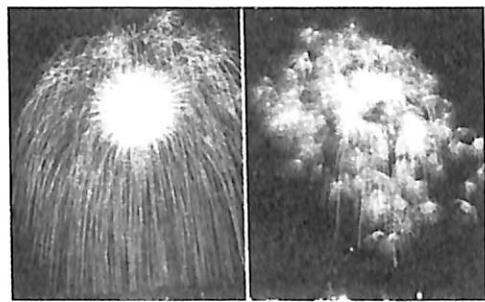
片貝一の長寿者

年々増加している高齢者の中で、二之町の松井周一さんは、96才で市内第三位である松井さんは呉服屋の松周の主人です。

秋祭り、今年も盛大に

9月9・19日
人口五千余人の町へ、二十万人(九日十万、十日十二万)が繰り出して、空前の賑わいとなった。行事は例年通り、左に掲げる。

八日夜前夜祭、九日午前八時から三時まで筒引き。九日



夜はお囃子コンクール。

煙火資料展、特設ステージ

煙火太鼓、打ち揚げ開始直

前の午後七時十五分から両日

十日午前九時から小学生に

よる鼓笛隊の行進。

相撲大会、十日正午より。

七月両国国技館で開催された

わんぱく相撲で三勝した四年

生の阿部勇樹君が、土俵上で

紹介されて、拍手を受けた。

物産展も好調な売り上げ

だった。

四尺玉は両日共に、見事に

開き、観衆をうならせて、秋

祭りは終了した。

小さな旅で片貝を紹介

9月24日
NHKの放送で、片貝の花火のすばらしさが伝えられ、郷里への思いが、一層かきたてられた。

NTTの調べでは、祭りに

関する電話が、小千谷観光

サービスへ70%近くがあった

という。さすが、との声も。

郵便局の新局舎着工 9月

片貝駅の跡へ新築される郵便

便局の工事が始まった。従来

の三倍の広さで、来年一月中

旬には完成する。

浦の浜の伝記出版

10月
年輩の会員なら「浦の浜」を知っている人も多いであろう。町裏出身で、関脇まで昇進したお相撲さん。

子ども心に浦の浜を、誇りに思ったものである。

昭和20年10月31日、56歳で

死亡した。小千谷の土建業者

の専務である小杉理事長の

著。浦の浜の人となりを知る

好著である。

市民綱ひき大会で優勝

10月17日
市の体育館へ29チームが参加した。十日町や越路町からも参加して熱戦をくり広げた成績は左の通り

小学生女子の部 優勝

小学生男子の部 小千谷小

について二位

一般男子の部 優勝

いずれも、各チームは自由

参加の形で申込んだもの。

第15回文化展 11月2・3日

毎年秋を賑わう行事となっ

ている。ふるさと会館で。

3日夜には、出品者五十名

が集って、懇親会を開いた。

図書館の図書購入費10月23日

の小千谷新聞によると、市の

図書館の蔵書数は、昨年より

三千冊増えて七万四千冊と

なった。

年間六百万円の予算で、最

下位の燕市に次いで、下から

二番目だという。高額の図書

は、なかなか買えないとい

う。母校を励ます会のこと

あり、現状を紹介した。

追善謡曲大会

10月30日

二之町の佐藤偉さんは、町の指導の中心的存在であったが、本年1月29日に65才で死去。お弟子も多く、関係者が氏の徳を慕って追善大会をふるさと会館で開催した。片貝は謡曲の盛んな町として、昔から知られている。

東京の師匠遠藤六郎氏も駆けつけて、仕舞を披露し、同氏の冥福を祈った。

観世流で、会員も百名を超えている。意義深い催しとなった。

綱ひき大会準優勝 11月20日

県の農協共済主催の大会は

9回目を迎えた。

片貝クラブは湯東村、月湯

村を破って、決勝で三仏生

チームに破れて惜しくも二位

だった。全国大会の出場権は

失ったが善戦した。女子は初

戦で敗れた。

あとがき

50号をおとどけします。

新役員の紹介で、会員諸兄

姉の便りを割愛せざるを得な

くなった。お詫び申します。

阿部会長の言われる通り、

会はみんなのものであり、こ

れからも永く継続されるべき

ものと思います。思いを新た

にし、楽しい新年会にしま

しょう。

(S)